

✧ 海外ニュース ✧

イタリア 2024年3月5日 Sacyr

■ イタリアの SIS 社は、自国の高速道路 320 km の受注契約に署名した

SIS firma la concesión de 320 kilómetros de autopistas en Italia

SIS 社は Fininc 社とサシル社の企業連合体として、トリノ近郊で受注した高速道路のうち 5 区間を運営する予定である。SIS 社が手がける高速道路の全長は 320 km に達する。12 年間の運営受注期間で通行料金による収入は 29 億ユーロである。受注計画には高速道路を改善する設計と事業実施計画が含まれ、8 億ユーロが投入される。このインフラはイタリア北部の通行にとって利便性を提供し、工業的に発達した地域を結び、毎日 3 万 3,000 台の車両が通行する。

米国 2024年3月5日 NJBIZ

■ パブリックコメントでマーフィー州知事が渋滞料金に大きな懸念を示す

In public comment, Murphy outlines grave congestion pricing concerns

ニュージャージー州知事のフィル・マーフィーは、ニューヨークの物議を醸す渋滞料金プログラムに対し通行料徴収計画がまとまるのに先立ち最終公聴会が開かれる中、3月4日、議論に加わった。知事は正式に書面によるコメントを提出し、都市交通局の委員会ヒアリングで呼びかけを行った。「都市交通局は、同局の計画に反対する声を無視し渋滞料金を策定するため、法的な要件に関し手抜きを続けている」と知事は述べた。一方同局の担当者は「料金改定プロセスの一部としてコメントを出したい人々からヒアリングを行っている。コメントは今春委員会が採決を行う前に検討されることになる」と述べている。

ドイツ 2024年3月6日 Die Autobahn

■ デジタル運転助手：広域運送および超大型トラックドライバーの負担を軽減

Der eBeifahrer : Zusätzliche Erleichterung bei Großraum- und Schwertransporten

ドイツでは 2024 年 3 月より実験プロジェクト「デジタル運転助手」の一環として全土の高速道路でデジタル運転助手の試験的利用が可能になった。「デジタル運転助手」は特に通行許可を必要とする大型トラックでの利用を想定したドライバーアシストシステムで、助手席に座る運転助手の代わりとなる。ナビゲーションソフトと組み合わせて利用することにより、通行区間ごとの道路標識、取得済み通行許可書に沿った通行条件を、ドライバーの呼びかけに応じて音声・画像の両方で伝えてくれる。情報をタイミングよく確実に伝達してくれることから、安全性が向上し、インフラの保護にもつながる。このプロジェクトは連邦デジタル・交通省の助成を得て行われているもので、2025 年末まで続行したのち評価が行われる予定。

米国 2024年3月7日 Traffic Technology Today

■ 連邦道路管理局が電気自動車充電に対する基準の更新に関し業界の意見提供を求める

FHWA requests industry input on updating standards for EV charging

米国交通局の連邦道路管理局は、新たな技術と継続的革新を可能とする電気自動車充電ステーションに対する最低基準および要件の更新に関し、利害関係者からフィードバックを求めるため情報提供依頼を発表した。一方 SAE インターナショナルは最近、北米充電規格のコネクターを J3400 として標準化し、供給業者や製造業者が同規格コネクターを使用、製造、展開することを可能としている。同管理局はエネルギー・運輸合同局とエネルギー省の協力のもと、電気自動車や充電器における J3400 の市場可用性を取り巻く期待等いくつかの重要領域で情報を集めている。

米国 2024年3月12日 Construction Dive

■ 連邦道路管理局が製品に対するバイアメリカ免除の撤回を望む

FHWA wants to drop Buy America waiver for manufactured products

連邦道路管理局は、連邦政府の資金によるハイウェイプロジェクトで使用される製品に対するバイアメリカ要件の40年にわたる一般免除を中断する提案を発表した。国内の製造、サプライチェーンを支え雇用を刺激することが目的である。同局はまたバイアメリカ要件で対象となる製品に適用される基準の作成を望んでおり、この基準の輪郭を描くため意見提供を求めている。請負業者らはこれらの要件の明確さの欠如に関し、以前より不満を漏らしていた。この提案された規則により、国内で生産された製品を最大限に生かすためのバイデン大統領の2021年1月の行政命令が施行されることになる。

スペイン 2024年3月14日 Cinco Días

■ フェロビアル社は、7億4,000万ユーロの投資によってインドの高速道路市場で強い立場を保持している

Ferrovial se refuerza en el mercado indio de autopistas con una inversión de 740 millones

インドのインフラ市場は再びフェロビアル社の高速道路投資にとって恰好の活動場所となっている。フェロビアル社は、シンガポールが所有するGIC社からインドのIRBインフラストラクチャ・トラストの24%の資本を獲得した。その額は7億4,000万ユーロに達し、この結果、シンガポールのGIC社が25%の資本を保持し、フェロビアル社が24%の資本獲得となる。この資本の売却・購入の手続きは、4月末頃に完了する予定である。インドはフェロビアル社にとって、米国に次ぐ2番目の開発相手国となっている。

フランス 2024年3月14日 Le Figaro

■ リオン南部を通る高速道路として、カーシェアリングと低速度の新しい道路を通行させる

Nouvelles voies de covoiturage et vitesse abaissées sur l'autoroute au sud de Lyon

フランスのローヌ県は、高速道路A7においてカーシェアリングを優先させる新しい道路を設定することにし、その長さは8kmに及ぶ。高速道路A7は朝のラッシュアワーで主に南から北へ向けて交通渋滞が生じやすく、カーシェアリングを推奨することで車両の数を減らし、ひいては大気汚染、騒音、そして渋滞を減らすことができるという。カーシェアリングの奨励により優先された車両にとって、通行時間の削減となり、結果としてCO₂の排出と事故の発生を減少させることになることと期待されている。

スペイン 2024年3月19日 Mitma

■ スペイン政府は9,300万ユーロを使って、排出ガスを削減するための契約により、590kmの高速道路を維持することを承認した

El Gobierno autoriza destinar 93 millones de euros para conservar 590 km de carreteras con el contrato para reducir emisiones

スペインの閣僚会議で、サラマンカ州、ブルゴス州、およびアストゥリアス州における高速道路関連の開発・維持契約の3件を入札対象にすることを承認した。工事は最初の3年間を初期期間として、交通、通行、および安全条件を補償することが期待されている。エネルギー効率の改善と排気ガスの削減のための条件が前提とされている。現在、スペインのCO₂排出量は年間7万1,640トンに達し、改善が望まれる。

英国 2024年3月20日 Infrastructure Intelligence

■ 英国でより安全な道路を目指し3,800万ポンドの増資

£38m boost for safer roads across England

3,830万ポンドの政府投資により国内の17の高リスク道路で安全性が向上されることとなる。この運輸省の発表は、英国の82の高リスク道路で救命改善のために既に投資されている1億4,750万ポンドへの追加となる。改善には新たな（環状）交差点の設計、（路面）標識の改善、新たな道路舗装と景観管理、横断歩道と自転車道の改善が含まれる。トランスポート・フォー・ザ・ノースはこの発表を歓迎している（英国北部の構想に1,700万ポンドが見込まれる）。運輸大臣は「英国の道路は世界で最も安全な道路の1つだが、われわれは常にドライ

パーや道路利用者の安全を支援する策を検討している」と述べている。

イタリア 2024年3月23日 Il Sole 24 ore

■ 電気自動車について、バッテリーの持続サイクルが多くの消費者の関心事となっている

Auto elettrica, il ciclo di vita delle batterie preoccupa molti consumatori

デロイトの2024年全世界自動車利用者研究の調査結果によると、電気自動車の利用者は欧州連合により組織的に把握されている以上に移動部門における電気自動車利用の転機リスクに意識が向いている。同調査によると、電気自動車はバッテリーが切れた時の対処が心配の種になっていて、電気自動車よりも吸熱性を利用したエンジンの自動車を利用したい人が増えているという結果となった。

ドイツ 2024年3月23日 Spiegel

■ ハンブルク市 ケールブランド橋建替え計画

Was wird aus der Köhlbrandbrücke?

北ドイツの港湾都市ハンブルクのシンボルであるケールブランド橋は老朽化が著しい。同橋は全長3,681mの斜張橋で約50年前に建設され、日々およそ38,000台の車両が通行している。既に2012年時点で、この橋が安全に走行できるのは2030年までとされており、当時のシュルツ市長は橋の架け替えを計画していた。ところがその後、2階建てのトンネルを建設する案が浮上。下層に鉄道や自動運転のコンテナ輸送車を走らせる壮大な計画であり、多方面から支持を得た。しかし2023年になって市の経済担当評議員が、コストが高すぎるとしてこれに異議を唱え、計画は橋の架け替えに再度変更された。新しい橋は2046年までに予算約50億ユーロで建設される予定。

米国 2024年3月25日 Construction Dive

■ 米国運輸省が地方自治体に対する SMART 補助金に 5,400 万ドルを授与

US DOT awards \$54M in SMART grants to local governments

米国運輸省は、輸送の効率と安全を向上する補助金プログラムの年次財源に5,400万ドルを支払っており、建設業者向け申請を用意している。モビリティ強化と交通革命、すなわち SMART 補助金プログラムは2022年度に発効しているが、22の州、コロンビア特別区、プエルトリコでの34のプロジェクトに資金を割り当てる。SMART プロジェクトは、大部分は運輸に関連しているものの、建設に関連しているものも多くある。例えばコロラド州の交通局は運輸、土地利用、インフラデータのデジタルツインを作成し、シナリオモデリングやインフラ計画をサポートする。

米国 2024年3月26日 The Chronicle-Telegram

■ オハイオ・ターンパイク料金所の変更で停車が減少

Changes coming to Ohio Turnpike toll plazas mean fewer stops

オハイオ・ターンパイクおよびインフラストラクチャー委員会の新たな通行料徴収システムは、有料道路の全241マイル区間で今後数週間にわたり段階的に導入される。この新たなシステムでは、ハイウェイ速度で電子的に通行料を支払うことのできる E-Z パス利用者用オープンロード課金車線と現金やクレジットカードで支払いを行う非 E-Z パス利用者用ゲート出口を組み合わせている。新型機器により E-Z パストランスポンダーが検知され、車両が車軸数や車高で分類される。現金やカードを受け付ける自動通行料支払い機は料金所インターチェンジの全20カ所と4つの幹線料金所に設置されている。

米国 2024年3月28日 ABC News

■ ボルチモアのキー橋は現代の貨物船に対する衝突保護対策を欠いていた可能性があると専門家が指摘

Baltimore's Key Bridge may have lacked collision protective measures for modern cargo ships : Experts

ボルチモアのフランシス・スコット・キー橋の倒壊を受け、技術・インフラ政策の専門家らは、大型貨物船に

対する米国内の橋の刷新と国際標準の緊急の必要性について説明している。1980年5月には貨物船MV サミット・ベンチャーがスカイウェイ橋の支持梁に衝突し死者35名の大規模な倒壊を引き起こしている。この橋の事故の3年後、米国運輸省連邦道路管理局は「船の衝突にさらされる橋の橋脚保護および警告システム」と題する技術勧告を公表した。また2023年6月、デラウェア川および湾局はデラウェア州記念橋保護システムの建設を発表した。

米国 2024年4月1日 Expansión

■ ACS社とアベルティス社は、テキサスで運営する高速道路の「国有化」に伴い、16億ユーロの補償金を受け取るようになる

ACS y Abertis recibirán una compensación de 1.600 millones por la 'nacionalización' de su autopista texana

ACS社は系列会社のイリディウム社を通して活動中で、アベルティス社と共同で、米国テキサス州の高速道路SH-288の契約終了に伴い、約16億ユーロの補償を受け取るようになる。テキサス州運輸省は、ACS社のCEOであるフロレンティーノ・ペレス氏が2016年から2020年の間に事業拡大したインフラ設備を「国有化」することにした。新型コロナの流行後、交通量が増え、通行料金が上昇し、利益が増加した。テキサス州はこれらの状況下で今が「国有化」の好機と捉えたようだ。

米国 2024年4月2日 Futuretransport News

■ ニューヨーク市の自律走行車試験への申請が公開

Applications Open for Autonomous Vehicle Testing in New York City

アダムス市長は、ニューヨーク市における重要な自律走行車試験への許可申請、それに付随する要件を公開した。この試験プログラムに対し確固とした安全要件が公表され、厳しい許可手順が策定された。これにより、許可を受けた応募者は米国で最も困難だがやりがいのある都市環境で技術をうまく安全に試験することが可能となる。関係者は緊急車両との意思疎通やサイバーセキュリティ対策について、交通局、警察、消防署といった市当局と緊密に連携する必要がある。交通局は入念に試験活動をモニターし、計画を評価し、課題に取り組み、許可条項の順守を確認することとなる。

ドイツ 2024年4月4日 Welt

■ 高速道路沿いトラック駐車スペース不足解消のための新プロジェクト

Neue Projekte gegen die Parknot von Lastwagen auf Autobahnen

ドイツ中部のチューリンゲン州では高速道路沿いのトラック駐車スペースが大幅に不足し、ドライバーを悩ませている。高速道路管理運営会社アウトバーン GmbH の同地域支社長によると、この問題を解消するため、今後10年から15年をかけて既存パーキングエリア18カ所および新設予定パーキングエリア2カ所に合計約730台分のトラック専用駐車スペースを新設する計画である。つまり1年に50ずつ新設する計算となる。州内を通る高速道路は全長521kmで、全国的に見てもトラックの走行台数が非常に多く、アウトバーン GmbH によれば4号線と71号線の交差する「エアフルトインターチェンジ」だけでも年間約2,000万台のトラックが通行している。

イタリア 2024年4月10日 QuiFinanza

■ 国営高速道路は有料道路を運営する公的企業の誕生として出現した

Autostrade dello Stato, via alla nascita della Spa pubblica che gestirà le strade a pedaggio

イタリアの閣僚会議は「国営高速道路」会社を設立する法令を承認し、同会社は経済省およびインフラ・運輸省の管轄下に置かれることになった。国営高速道路の運営を担う完全に公的な企業として発足する。1990年代に高速道路の民営化が行われたが、2018年8月14日に起こったモランディ橋の崩落事故のあと、道路運営は再び国が行うことになった。その国営企業は道路運営会社であるアナス社が現在行っている事業を引き継いで運営することになる。有料道路以外の道路運営についてはアナス社が引き続き行う。